燃焼器具は空気(酸素)が不足したままで使用していると不完全燃焼を起こし、CO(一酸化炭素)が発生します。COは毒性がとても強く少し吸い込んだだけでも頭痛・吐き気などがし、気がついた時には動けず死にいたる危険性があります。

禁止

CO中毒は大変危険です

換気をしない長時間の使用

●ストーブ、ガスファンヒーターは1時間に1～2回、窓を開けて換気してください。

風呂がまと換気扇の同時使用

●屋内に排気筒のある風呂がまは、台所や脱衣場の換気扇を同時に使用しないでください。

瞬間湯沸器の危ない使い方

●お風呂のお湯張り、シャワーなどの長時間使用は不完全燃焼の原因となり、大変危険です。

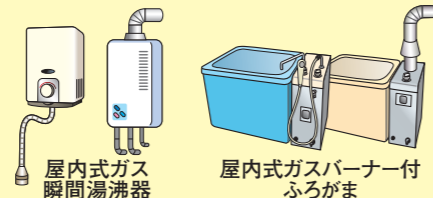
絶対に
やめましょう!

お知らせ

「安全制度」をご存知ですか!(長期使用製品安全点検制度)

平成21年4月から製造・輸入する「特定保守製品」に点検制度が設けられました。特定保守製品を購入した場合は、「所有者登録」をしましょう。

屋内式ガス瞬間湯沸器

屋内式ガスバーナー付ふろがま

平成21年4月より前に製造された製品は法定点検の対象外ですが、お客様からのご依頼があれば法定点検に準じた点検を実施しています。点検費用は有料です。器具メーカーにご相談ください。

ガス器具の点検・修理の連絡先(記入欄)

※点検・修理の連絡先は、あらかじめ取扱説明書や器具メーカーのホームページ等で確認してください。

	品名・器具名	メーカー名	購入年月	点検・修理の連絡先
①				☎
②				☎
③				☎
④				☎

LPガス緊急時の連絡先	LPガス販売店名
連絡先: 電　話: 緊急時の連絡先は24時間無料で対応しています。	

外国語版(英語・ポルトガル語・中国語・韓国語・スペイン語)もホームページでご覧いただけます。
LPガス安全委員会ホームページでも詳しい情報をご覧いただけます。http://www.lpg.or.jp/

LPガス安全委員会
2014.3

LPガス保安ガイド

活用版

安全・安心にお使いいただくために

LPガス安全委員会／経済産業省
http://www.lpg.or.jp/

ガス漏れ,災害・・・,万一の時の対応は

ガス臭いと感じたら

火気は絶対使用しないで

●着火源となる裸火、換気扇、電灯などのスイッチにも絶対手を触れないでください。
●電気のスイッチは切る時にも火花がでます。切ることもしないでください。

ガスを外に追い出して

●戸や窓を大きく開けてください。

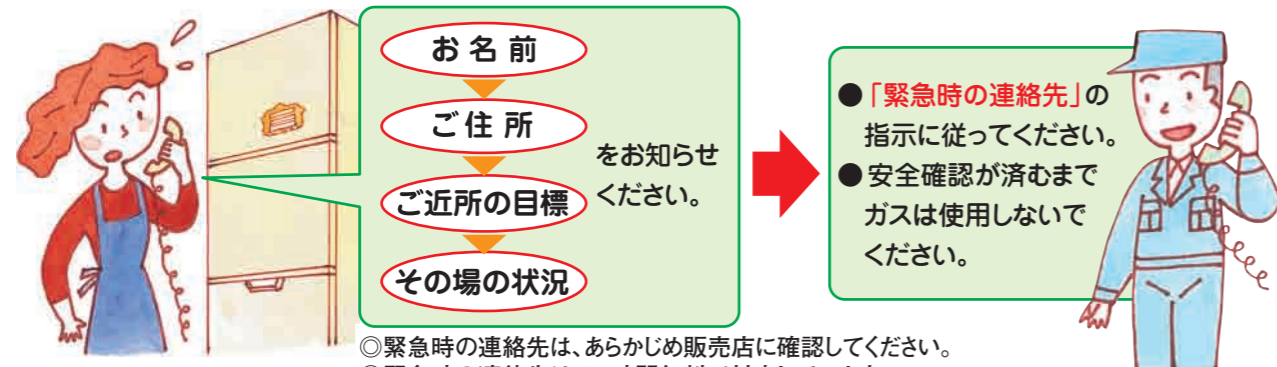
※LPガスは空気より重いため、低いところに溜まったガスにもご注意ください。

●すべてのガスの元栓、器具栓を閉めてください。

●容器バルブは必ず閉めてください。

ガス漏れの状況をすぐ連絡

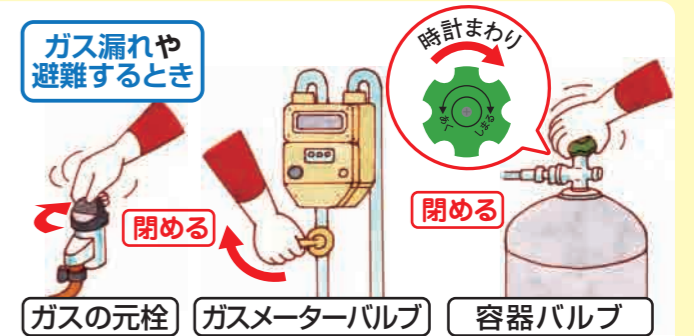
●すぐに「緊急時の連絡先」に連絡してください。

●「緊急時の連絡先」の指示に従ってください。
●安全確認が済むまでガスは使用しないでください。

◎緊急時の連絡先は、あらかじめ販売店に確認してください。
◎緊急時の連絡先は、24時間無料で対応しています。

地震・火災・災害が起きたら

●ガス漏れやガスの臭いがするときは、ガスの使用をやめて、器具栓、ガスの元栓、ガスメーターバルブおよび容器バルブをすべて閉めて、LPガス販売店か緊急時の連絡先に連絡してください。
●避難するときは、器具栓、ガスの元栓、ガスメーターバルブおよび容器バルブをすべて閉めてください。

※家屋等に被害が発生した地域では、ガス漏れや容器の点検を順次行いますので、点検の際にはご協力をお願い申し上げます。

ガス漏れや避難するとき

ガスが突然止まったら（ガスを再開するときの安全確認）

チェック

- ガス漏れやガス臭いときは、ガスを使用せず、LPガス販売店か緊急時の連絡先に連絡してください。
- ガス器具が損傷していたときには、ガスを使用せず器具メーカーに修理を依頼してください。
- ガスがしゃ断された場合は、ガスメーターの表示を確認し復帰を行ってください。

※「圧力が低下した時」や「大量漏えい」のしゃ断表示の場合は、LPガス販売店か緊急時の連絡先に連絡してください。

ガスメーター（マイコンメーター）の機能と表示

■ガスしゃ断の機能

●長い時間ガスを使用したときやガス器具の消し忘れのとき、自動的にガスをしゃ断します。
●ガスを使用中に強い地震（震度5相当以上）が起きたとき、自動的にガスをしゃ断します。ガスを使用していないときは、ガスをしゃ断しない機能になっています。
●配管の折損やゴム管がはずれたときなど、大量のガスが流れたとき、自動的にガスをしゃ断します。

■ガスしゃ断時の表示

●ガスの流れや圧力などに異常があると、自動的にガスをしゃ断し、原因が表示されます。

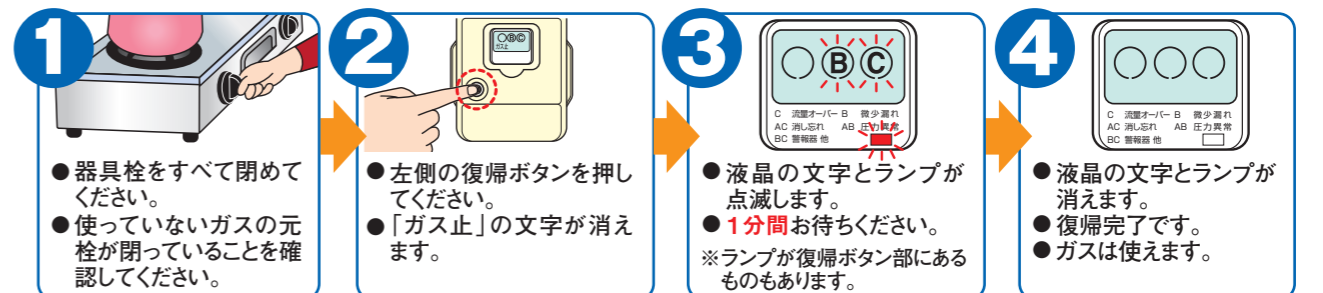
※ガス警報器とガスメーターが連動している場合、警報が鳴ったときも地震しゃ断と同じ表示になります。

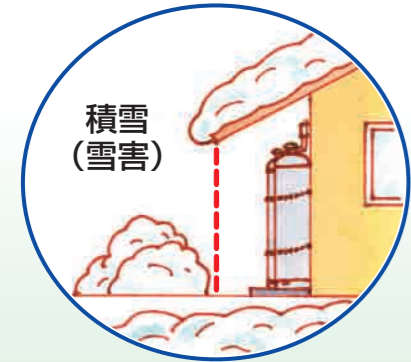
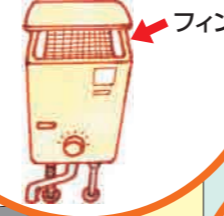
ガスメーターの復帰方法

■次の手順で復帰操作を行ってください。

1. ●器具栓をすべて閉めてください。
   ●使っていないガスの元栓が閉っていることを確認してください。

2. ●左側の復帰ボタンを押してください。
   ●「ガス止」の文字が消えます。
3. ●液晶の文字とランプが点滅します。
   ●1分間お待ちください。
   ※ランプが復帰ボタン部にあるものもあります。

4. ●液晶の文字とランプが消えます。
   ●復帰完了です。
   ●ガスは使えます。

※復帰操作をしても復帰しない場合（再び「ガス止」表示が出る）は、復帰操作を繰り返さずLPガス販売店の点検を受けてください。

消費者の皆さまに行ってほしい安全管理は
●ガスメーターの出口からガス器具までは 消費設備 と呼ばれ、法律上の管理責任は消費者の皆さまにあります。
●4年以内に1回、法律に基づき認定を受けた保安機関 が皆さまのご家庭に伺い、消費設備の調査を行いますが、日常の点検・維持管理はLPガスを使っている 皆さまで行 ってください。
積雪（雪害）
損傷防止
調整器
漏れ
くさり（転倒・転落防止）腐食防止 温度上昇防止
※くさりの2重掛けを推奨
LPガス容器
LPガス容器
ガスメーター
火気との距離は2m以上に
2m超
圧 力
漏 れ
腐食防止
欠 陥
埋設管の漏れ調査
LPガス販売店が行う安全管理
LPガス容器からガスメーターの出口までは 供給設備 と呼ばれ、LPガス販売店が、責任を持って点検と維持管理を行います。
※LPガス販売店が行う安全管理の詳しくは次のページ（P5）をご覧ください。
長時間のガス使用はときどき窓を開けて換気を
ガスを使う場合は換気を習慣に
CO警報器
CO中毒について！
燃焼器具は空気（酸素）が不足したままで使用していると不完全燃焼を起こし、CO（一酸化炭素）が発生します。COは毒性がとても強く少し吸い込んだだけでも頭痛・吐き気などかし、気がついた時には動けず死にいたる危険性があります。CO警報器の設置をおすすめします。
フィン（排気部）の目づまりのチェック
フィン
点火・消火は目でチェック
※乾電池が切れていると点火できません。
※器具が点火しにくい場合は、すぐに器具メーカーに点検を依頼してください。
ガス警報器
コンセントが差し込まれていますか
ストーブ、ガスファンヒータをご使用の皆さまへ
1時間に1〜2回、窓を開けて換気してください。
使っていないガス栓のチェック
ゴムホース接続チェック
排気筒（煙筒）のチェック
台風などによる破損のチェック
排気筒
ふろがまの空だきに注意
給気口のチェック
こんなときはすぐに連絡を！
●器具メーカーかLPガス販売店に、すぐ点検を依頼してください。
●点検・調査は無料で行いますが、修理や改善が必要なときは有料となります。
炎
炎が安定しない
炎が黄色い
炎が赤い
操作
使用中に消火した
爆発的に着火する
火移りしにくい
点火しにくい
点火しない
器具
異常音をたてて燃える
ガスの臭いがする
運転中に排気ガスの臭いがする
使っている皆さまが行う安全管理
◎不明の点やお困りの ことがありましたら、販売店へお気軽にご相談ください。
P3
P4

お伺いした時はご協力ください

LPガスの保安業務について

LPガスを安全にお使いいただくために、法律に基づき定期的に周知や消費者宅の点検・調査の保安業務を行いますが、認定を受けた保安機関に販売店が委託している場合があります。保安機関が訪ねた時はご協力をお願いいたします。

供給開始時点検・調査

●ガス器具も含めたLPガス設備全体の点検・調査を行います。

容器交換時等供給設備点検

●容器の転倒防止の確認など、容器周りの点検を行います。

定期供給設備点検

●ガス漏れの有無など、調整器からガスメーターの供給設備の点検を行います。

定期消費設備調査

●ガス器具、給排気、ホース、配管などの消費設備の調査を行います。

周知

●使用上の注意点や事故を起さないための情報などを定期的に文書でお知らせします。

緊急時連絡と緊急時対応

●ガス漏れなどの時、すみやかに対応します。

◎「保安業務」は無料で行います。「消費設備」の修理や改善が必要なときは有料となります。

日々，注意していただきたいこと

安全チェックのポイントはここ

埋設管の事故防止のために

埋設管近くで庭木の植え付けや工事をされる時は、安全に作業をしていただくために、LPガス販売店にご連絡ください。